



よ坊さんだより

▼55▲

妊娠中は、お口のトラブルが増えるのをご存じですか？ つわりやホルモンバランスの変化が主な原因ですが、むし歯になりやすくなったり、歯ぐきも出血や腫れを起しがひどい時期は、どうしてもブラッシングを怠りがちになり、通常よりもむし歯や歯肉炎などの症状が悪化しやすいので要注意です。実は、妊娠中に歯周病が

悪化すると、早産や低出生体重児のリスクが非常に高くなる、というデータがあります。ですから、我慢しておいて出産後にまとめて歯科治療すればいい、というのは危険な考えです。やはり悪い所があればなんらかの治療を受ける必要があります。

妊娠中の歯のトラブル

ところが、特に妊娠初期では胎児への影響もあり、痛みや腫れがあっても鎮痛剤や抗生物質などの服用に慎重にならざるを得ません。また歯科麻酔が可能などうかなど、不安をもっておられる方もいるでしょう。しかし、症状が重症とな

たいところです。歯ブラシや歯磨き粉を刺激の少ないものに変えるなど工夫しましょう。歯科医院での定期的なチェックもオススメです。何よりも健康な状態でお子さんを授かるのが一番です。最近では、妊娠という言葉も耳にしますが、その一環として、まず妊娠前に歯科医院でお口の健康チェックをされてはいかがでしょうか。

(京都府歯科医師会広報
室委員 谷口広樹)

*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。